



昔日の回廊、栄華の記憶
豪農が暮らした館へ



きたえちごのお殿さまは石州流
溝口家の茶寮

新発田の豪農・市島邸
 (新潟県指定文化財～12棟1構～)

市島家は、慶長3年(1598)の溝口侯の新発田移封に伴い、加賀國大聖寺より随従しました。五十公野、水原と居を移した宗家は、水原時代に福島潟干拓など蒲原平野の開発に努め、ついには大地主に。明治初期建築の風雅な邸宅、自然の風致に富んだ回遊式庭園、美術品、市島春城や會津八一が名を連ねる家系図、嫁入り道具からも当時の豪農ぶりが存分に見てとれます。



私の好きな市島邸の秋
 黒堀に囲まれた市島邸は、「豪農の館」の一つとして広く県内外に知られています。庭園は四季を通じて趣がありますが、秋風に揺れる紅葉が池の水面に映る美しさは格別です。

市島邸ボランティア世話人
 田村 光雄さん



- 開館時間:午前9時～午後5時
 午前9時～午後4時30分(12月～3月)
- 休館日:水曜日(祝日の場合翌日)
 年末年始(12月28日～1月3日)
- 入館料:一般600円 小・中学生300円
- ☎0254-32-2555
- 新発田市天王1563 きたえちごMAP》14

いじみの
五十公野御茶屋

(国指定名勝・新潟県指定文化財)

初代新発田藩主溝口秀勝侯が、ここに仮住まいをして築城の構想を練ったと言われています。3代宣直が別邸を、4代重雄が、幕府の茶道方を招いて庭園をつくりました。会津街道を経由する参勤交代の際、新発田城から五十公野まで盛装で行列をし、御茶屋で旅装に着替えたといわれています。



- 開館時間:午前9時～午後4時30分
- 休館日:月曜日(祝日の場合翌日)12月～3月は閉館
- 入場料:無料
- ☎0254-22-9534 新発田市教育委員会生涯学習課
- 新発田市五十公野4926 きたえちごMAP》15